



若葉台中学校

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/wakabadaigaku/>

発行 平成31年1月21日
横浜市立若葉台中学校
学校だより 4号
校長 岩永 徹
副校長 佐久間桂一

今年もよろしく申し上げます

校長 岩永 徹

新しい年、2019年が始まりました。今年も、本校に関わる全ての方々が笑顔で過ごせるよう、教職員一同、精進してまいりますので、ご理解、ご指導のほど、よろしく申し上げます。

さて、始業式で私は、生徒たちに次のように話しました。

「3年生は、あっという間に卒業となります。一日一日を大切に、素晴らしい卒業式にしましょう。2年生も、中学校生活が半分以上終わっています。あと一年とちょっと、先輩たちが作ってくれたよき伝統をもとに、君たちらしい学校生活を送ってください。1年生、4月には後輩が入学してきます。本当の意味で、先輩と呼ばれるのにふさわしい人になれるよう、努力してください。全校のみなさん、何をしても健康第一です。寒さに負けず、自分で健康管理をしていきましょう。皆さんの活躍を期待しています。」

地域の方々にも、引き続きお世話になっています。

希望進路先での面接試験対策として、自治会代表の方々に来校していただき、面接者として3年生と実際に面接する「模擬面接」を、1月に三日間行いました。一日に7名、計21名の方にお世話いただきました。子どもたちは、面接には不慣れなうえに、緊張しながらの取組でしたが、地域の皆様からは、おおむねお褒めの言葉をいただきました。

2年生は、「職場体験学習」を11月末に行い、若葉台内外の地区の方々にお世話になりました。子どもたちは、まじめな取組を評価していただいた半面、「声が小さい」「はきはきとした受け答えを望む」などの課題も指摘していただきました。

また、若葉台中学校開校以来、初めての、1年生での「職場体験学習」を2月27日に行うこととしました(ちなみにこの日、3年生は公立高校の合格発表)。これまでの1年生は、いろいろな職業に携わる方々に来校していただき話を聞く、という「職業講話学習」を行っていましたが、座って話を聞くより、自分から職場に伺って、顔の見える関係で教えていただく方がよりよい、と考えました。主に若葉台団地内での活動をお願いしており、まちづくりセンターをはじめ、たくさんの方々にご協力いただいております。

昨年までと同様、本年も、若葉台の中学生たちをよろしく申し上げます。

「全校生徒とともに」

生徒会長 小林彩音

先の生徒会本部では、内部の改革をたくさんおこなっていましたが、学校全体の改革は少なかったように感じました。今年度の生徒会本部では、学校全体の改革を主におこなっていきます。

「全校生徒で若葉台中学校を創りあげる」を目標に生徒全員が楽しい学校生活を送れるように精一杯頑張っていきます。

最後に1年間を振り返った時に、生徒会本部と全校生徒で創り上げた改革を誇りに思えるようにしたいです。1年間よろしく申し上げます。

「誰にとっても安心して安全な学校を目指して」～いじめ防止への取組～

昨年10月、横浜市「いじめ防止基本方針」が改訂されました。本校でも「いじめの早期発見・早期対応・未然防止」を柱に「若葉台中学校いじめ防止基本方針」を昨年2月に一部改訂し、学校HPにも掲載致しました。昨年8月、旭区役所での「旭区横浜子ども会議」において「だれにとっても居心地のよい学校づくり」をテーマに各小中学校代表児童生徒が集まり、討議・発表を行いました。12月人権週間・いじめ防止月間の際には、その内容・テーマを踏まえ、本校生活委員会を中心とした道徳授業が行われました。全校生徒、各クラスで意見交換をすることで、共に「安心して安全な居心地の良い学校」を考える場となりました。生徒たちの考えや感想を掲載させていただきます。

(感想・一部抜粋)

①「だれにとっても」の「だれ」とは？

・全校生徒、地域の人、先生方、保護者の方、生き物 など

②「居心地のよい学校」とはどのような学校なのか？

安心できる、いじめがない、偏見がない、安全、楽しい、ひとり一人がルールを守る、キレイに掃除されている、自分の意見を発言できる、平和 など

③「居心地のよい学校」にしていくためには、どのようなことを大切にしていけるか？

あいさつ、ルールと決まり、人権、思いやり、協力、相手の尊重、地域ボランティア、コミュニケーション、助け合い、など

④自分たちでどのような取組ができるか？

相手の良いところを見つけるようにする、あいさつ、気配り、レクを増やして仲を深める、など

⑤今、行っている取組をどのように深めていくことができるか？

生活目標を意識して行動する、他校との交流会、あいさつ運動、このような討論会を増やしていく、話し合いの時間を大切にしたり、増やしたりしていく、など

*振り返りをし、いつも深く考えないようなことまで考えることができたから「これはひとり一人の問題なんだな」と改めて思いました。

*学校生活において、やっていいことといけなことを改めて考えることができました。

*話し合ってみて、誰にとっても居心地のよい学校を作るには、ひとり一人が意識して行動に移さなくてはいけないと思いました。このような時間は大切だと思いました。

*グループの人と意見交換ができてお互いの考えや思いを知ることができ、納得して話を進めることができたように感じます。

*話し合いをして考えを知ることができた。具体的な行動を一人ひとりが実践することは難しいと感じる。

活動記録

【バドミントン部】

旭区中学校1年生大会女子個人選シングルス
第3位 星野谷 日奈さん

【女子ソフトテニス部】

横浜市民大会ソフトテニスジュニア中学1年
団体の部 3回戦進出
旭区大会2年生の部 第4位
平片さゆき・鈴木琴葉ペア

【卓球部】

全横浜少年卓球大会 ブロック3位
太田海仁さん

平成30年度神奈川県中学生卓球大会
団体戦出場（この大会は横浜市大会の上位校のみ出場できる大会です）

メンバー

西井 知洋さん 鎌田 大心さん
黒住 優和さん 佐々木宗克さん
太田 海仁さん 菅谷 玲緒さん

福祉委員会がボランティア・スピリット・アワードを受賞

「ボランティア・スピリット・アワード」という全国でボランティアを行っている中高生の個人、団体に対して贈られる賞です。今回の受賞は、前期福祉委員長の「矢野こころ」さんが、地域清掃の取組、ヨーカドー前での赤い羽根募金、ユニセフ募金の校内活動、このように世界規模の福祉にも目を向けた活動内容を夏休み中に作文にまとめ応募し、首都圏ブロックで中学生部門の「コミュニティ賞」受賞となりました。この賞は、神奈川県内の中学校で4校のみで、本校以外は常連校ばかりでした。この賞を励みに、福祉やボランティアの活動の輪を広げて行けたらと願っています。

(福祉委員会担当 池田雅明)

/1月・2月・3月の主な予定/

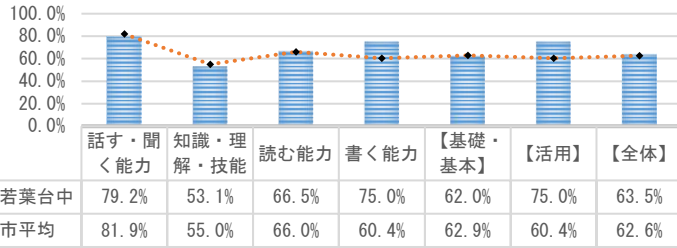
- 1月 21日(月) 生徒会委員会①
22日(火) 生徒会委員会②、3年私立推薦入試
23日(水) 中央委員会、3年私立推薦入試
24日(木) 6校時2年2組道徳研究授業、3年私立一般出願
28日(月) 3年公立選抜出願
31日(木) 3年第4回定期テスト1日目(英・国・社)
- 2月 1日(金) 3年第4回定期テスト2日目(理・数)、1、2年進路説明会、個別支援学級合同学芸会(西公会堂)
2日(土) 地域交流ソフトバレーボール大会(VOSC主催)
4日(月) 生徒会委員会①
5日(火) 新入生保護者説明会、部活動体験
9日(土) 学校運営協議会、健全育成協議会(午前)
10日(日) 若葉台地区駅伝大会
10日(日) ~13日(水) 私立一般入試・発表
14日(木) 公立共通選抜学力検査、3年特別時間割開始
個別支援学級合同行事
18日(月) 1、2年第4回定期テスト(社・国・技家)
19日(火) 1、2年第4回定期テスト(理・英・保体)
20日(水) 1、2年第4回定期テスト(数・音・美)
21日(木) 1、2年学力学習状況調査(国・社・理)部活動再登校
22日(木) 1、2年学力学習状況調査(数・英・意識調査)部活動再登校
27日(水) 1年職場体験
3年公立共通選抜発表
- 3月 6日(水) 卒業式予行練習、3年生を送る会(5校時)
8日(金) 卒業式会場等準備(午後)
11日(月) 卒業証書授与式
22日(金) 大掃除
25日(月) 修了式
26日(火) ~4月4日(木) 春休み
- 4月 5日(金) 始業式、入学式

※1月24日の下校時間は、3年生と1、2年生の下校時間が異なります。

横浜市学力・学習状況調査結果 分析と手立て

(11月8・9日 3年生において実施)

国語



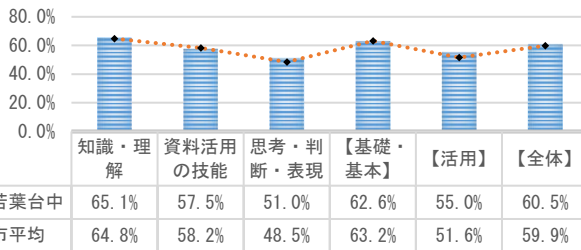
【分析】

書く能力は市平均よりも高い。しかし、知識・理解・技能において、漢字に関する問の正答率が高いが、言葉の決まりに関する問の正答率がやや低いことがわかった。

【課題に対する改善の手立て】

言葉の決まりについて復習し、文法問題に重点をおき、知識の定着を目指し、問題演習を繰り返し行う。

社会



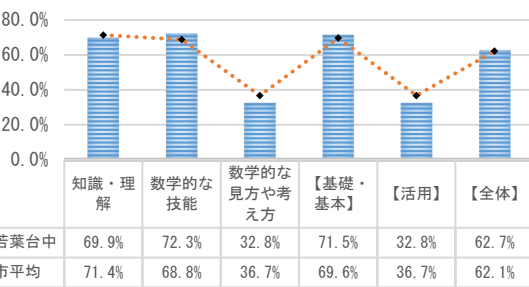
【分析】

基礎・基本と資料活用の技能が市平均よりやや低い。特に、歴史分野における太平洋戦争から冷戦までが正答率が低いことがわかった。

【課題に対する改善の手立て】

問題演習を増やし、基礎・基本や資料活用の技能の定着と向上を図る。特に、資料活用の技能では、資料の読み取り方を復習する。

数学



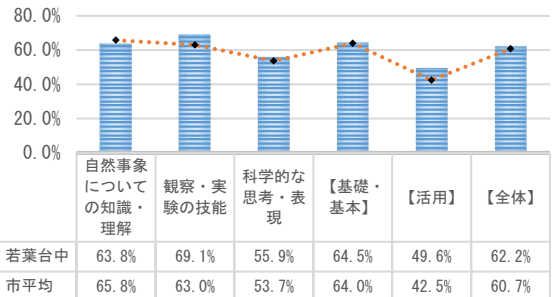
【分析】

見方考え方の観点が市平均よりやや低い。詳しく調べると、数と式分野において正答率が低いことがわかった。

【課題に対する改善の手立て】

文字式がどんな量を表しているのか考えたり、文字を用いて数の規則を見出したりする問題を復習する。

理科



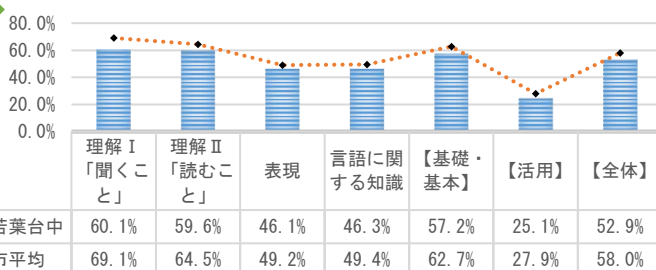
【分析】

技能と思考・表現の観点が伸びているため、全体として市平均を上回ることができたが、知識・理解の観点到課題が残る。

【課題に対する改善の手立て】

授業時間の中で問題演習をする時間が確保しにくい状況であるが、単元ごとにも振り返りを行う必要性が感じられる。

外国語



【分析】

全体的に市平均より低いことがわかる。特に、聞くこと・読むことの観点が苦手であることがわかった。

【課題に対する改善の手立て】

英語を繰り返し聞き、正しく聞き取る練習や英文のポイントをおさえて素早く読む練習をする。

生活・学習意識調査

『授業では、自分の考えを発表していますか』という設問に対し、「よくしている」「どちらかといえば、している」と回答した生徒の合計が市平均より11.6%下回った。教科別の学習意識調査からも、授業の中で工夫して話したり、自分の考えを言葉で説明したりする活動に対して消極的であることがわかる。学習の基盤となる言語能力の育成を図るため、各教科等の特質に応じて、生徒の言語活動の充実を目指していきます。

読書活動に関しては、1日の読書時間と学校図書館の利用状況のどちらも市平均を上回っているため、引き続き学校司書との連携を図りながら、朝読書などの取組を続けていきます。

『1日にどのくらい勉強しますか（塾や家庭教師は含まない）』の設問では、「2時間以上」が市平均51.6%に対し、本校は43.4%であった。昨年度の3年生（41%）と比較するとやや好転しているものの、生徒の学習習慣の確立に向けて、今後も家庭との連携を図っていきます。

また、『いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか』の設問では、「そう思う」は市平均と同程度であったものの、「どちらかといえば、そう思わない」が市平均4.6%に対して本校は12.0%であった。生徒が自立した人間として他者とよりよく共生していくための道徳性を養うことを目指し、今後教科化される“道徳科”を要として、教育活動全体を通して道徳教育をすすめていきます。